

令和4年度 放課後等デイサービス事業所(いるかデイ東見前) 自己評価・集計について

- 1 目的 保護者と事業所それぞれが自己評価をすることで、日々の支援の在り方や業務について、再確認及び検討を加え、より良いサービスの提供と充実を図る。
- 2 調査期間 令和4年8月22日～9月30日
- 3 対象者 ・定期利用のある保護者12名
12名に依頼し回答があったのは、12名(回収率100%)
・職員 4名(回収率100%)

4 実施結果

(1) 保護者

保護者向け自己評価・集計表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	ご意見	評価及び課題	
環境・ 体制・ 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2			・特記事項なし。	・2つのプレイルームを有効活用し、子どもの状況に応じた支援環境を整えていきます。 ・長期休業等は外出活動を企画したり、外遊びを積極的に行うと共に、利用者の状況に応じて空間を分けて過ごして頂けるように工夫していきます。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1			・特記事項なし。	・職員の配置は、基準より多く配置しています。利用者が多い時や外出活動の際は、パートの方をお願いして対応しています。 ・専門の知識の向上を図るため、研修会に積極的に参加し、職員間で情報を共有しています。	
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	5			・特記事項なし。	・トイレや玄関に手すりを設置しています。 ・個々の状況に応じて対応しています。	
適切な 支援の 提供	④ こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11	1			・特記事項なし	・利用者や保護者の方々のニーズを把握したうえで、個々の発達課題を明確にし、アセスメントしながら個別支援計画を作成しています。 ・支援会議を行い、職員間で情報を共有し、支援に一貫性を持たせています。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1			・特記事項なし	・月毎に活動内容の検討を行い、季節感のある活動や行事、軽運動(散歩や公園遊び等)を取り入れ行っています。 ・長期休みには、外食や買い物、施設見学など社会資源を積極的に活用しています。	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	5		・障がいの特性上、人との関わりが苦手なので学校活動で疲れもあり、デイではゆっくり過ごしてもらいたい。・放デイでは、交流の必要性を感じない。	・現在、交流の機会はありません。	
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	11	1			・特記事項なし。	・引き続き契約時には、重要事項説明書を基に、丁寧な説明を行っていきます。また、変更がある場合には随時説明をしています。	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解できているか	11	1			・いつも、丁寧に状況等伝えていただけてるのでお互いに理解ができています。	・家庭に送った際や連絡帳を活用して、活動の様子や成長・変化についてお伝えしたり、電話にて対応することもあります。 ・子供の発達の様子や課題について、保護者の方々と共通理解し合うことを大切にしながら今後も対応していきます。	
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			・送迎時、私にまで寄り添った言葉をかけて下さるので大変ありがたいです。	・個別面談時以外にも、保護者の方々からの相談についてはその都度対応し、助言させていただいています。申し出があれば随時、個別相談に応じていきます。	
	⑩ 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	4	2	・働いている保護者が多いと思うので、あまり必要性を感じない。 ・学校や学年も違うので、保護者会の開催は難しいと思います。(仕事をされている方も多いので)	・放課後デイは、限られた時間での活動で、複数の事業所を利用している方も多いためです。また、お仕事をされているお母さんもいるので、現状では難しいと思われます。	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				2	・苦情は個人的にはないが、何かあった時は迅速・適切に対応していただいている。	・苦情等については、迅速に対応しています。引き続き保護者の方々が話やすい雰囲気作りをし、迅速かつ丁寧に対応していきたいと思っております。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮がなされているか	10				2	・特記事項なし。	・利用の都度、連絡帳を活用したり、ご家庭に送った際にお伝えしていきます。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	10				2	・特記事項なし。	・引き続きいるかデイ東見前通信を発行して、活動の様子をお伝えしていきます。 ・自己評価の結果については、保護者の方々に文書でお伝えすると共に、HPにて公開する予定です。
⑭ 個人情報に十分注意しているか	10				2	・特記事項なし。	・個人情報の漏えい等については、細心の注意を払っています。 ・関係機関との連携が必要な場合もありますので、契約時に保護者の方から、同意書への記入をお願いしています。また、必要に応じて、保護者の確認を取りながら対応していきます。	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10		2	・特記事項なし。	・各マニュアルは作成済みです。 ・引き続き、保護者の方々への周知に努めていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか	10		2	・特記事項なし。	・避難訓練は、年間計画に基づいて、月1回実施しています。(火災、地震、浸水、不審者)
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10		2	・特記事項なし。	・ほとんどの方に「通所を楽しみにしている」と答えていただき、事業所としても嬉しく思います。今後も保護者・利用者の方々に信頼され、安心して利用して頂けるように、支援内容を工夫し、職員の資質向上に努めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9	1	2	・特記事項なし。	・ほとんどの方に「満足している」と答えていただき、事業所としても嬉しく思います。今後も保護者や利用者の方々に信頼され、安心して利用して頂けるように、個々のニーズに合わせて丁寧な支援・対応を心掛けていきます。
合計			167	22	9	18	
割合%			77.3%	10.2%	4.2%	8.3%	

全体としての課題

・療育支援や保護者支援の充実を図る目的で、支援の中にソーシャルスキルトレーニング等を取り入れて支援を行っていますが、子どもの状況や課題に応じた支援の向上と、保護者の協力を得ながら情報共有を行っていく必要があると思います。

・支援内容や職員の対応等について、今年度の評価でも多くの保護者の方々が好意的に感じていただいていることが分かりました。これは、職員にとって励みとなり、今後も保護者の方々に信頼・安心してサービスを利用していただけるように職員の資質の向上に努めていきたいと思ひます。

(2) 事業所
事業者向け 放課後等デイサービス自己評価・集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	評価及び課題	
環境・ 体制・ 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		2	2	・収納スペース確保の為、物置を設置した。狭さを感じるが利用者個々の活動や落ち着ける場所づくりを工夫している。	・今後も限られたスペースを有効に活用できるように工夫しながらの対応が必要です。	
	②	職員の配置数は適切であるか	2	1	1	・基準人数より1名多く配置されている。 ・利用者が多い時や外出活動時、必要に応じてパートの方をお願いしている。	・利用者の利用申し込み状況や外出時等状況に応じた職員体制を継続していきます。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	1	・玄関の段差には踏み台を置き、玄関やトイレに手すりが設置されている。	・現段階では、バリアフリー化が早急に必要状況ではありませんが、利用者さんにとって安全で使いやすい環境を整えて対応していきます。	
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3		昨年度に引き続き取り組み、定期的なモニタリングを行っている。	・事業の現状と課題の把握と職員の資質向上のために継続して行っています。	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	4			・年1回実施、事業や支援内容に反映している。 ・意見要望等の受付等を行っている。	・保護者の要望等を明確にするためにも、継続して実施し、サービス向上に努めています。	
	⑥	自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・結果について、保護者の方に文書でお伝えし、玄関に掲示している。	・HPに結果を掲載する予定です。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		3	・未実施。	・今後の検討課題です。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4			・障がい者相談支援従事者初任者研修、サービス管理責任者等基礎研修、虐待防止研修、メンタルヘルス研修、苦情解決情報交換会(応用研修)に参加している。	・様々な研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			定期的な個別面談、支援会議を実施。また、相談支援専門員と情報交換を行っている。	・引き続き実施していきます。 ・子供達の困り感や課題を明確にしながら作成していきます。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1	・標準化されたアセスメント表を使用し、個別支援計画作成や支援会議に活かしている。	・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・児発管を中心に、職員会議で話し合い、活動内容や余暇・外出活動の計画を立てて実施している。	・引き続き実施し、療育支援の充実を図っていきます。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		・利用者個々の状況に応じて臨機応変に実施するようにしている。個別活動・集団活動共に内容のバリエーションを増やしていく。	・利用者がバランスよく経験・体験できるように内容の充実を図っていきます。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・平日は学校での様子を伺い、気持ちをリラックスさせたり体を休めるよう配慮しながら行っている。学校休業日は行事を中心に色々な体験ができる活動を多く取り入れている。	・引き続き実施していきます。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			家庭や学校での様子を考慮しながら、バランス良く色々な活動を実施するよう努めている。	・引き続き実施していきます。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・毎朝、職員全員でミーティングを行い、情報共有や活動内容を確認している。	・引き続き実施し、支援やサービス内容の充実を図っていきます。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4			・送迎後、更に翌日のミーティング時に行い、職員間の情報の共有を行っている。	・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・個別ケース記録をつけている。	・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。	
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・個別支援計画作成後、6か月ごとにモニタリングと見直しを行い、新たな個別支援計画を作成している。	・引き続き実施していきます。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2		・放課後の充実と社会性やコミュニケーション能力向上を目指し、集団活動や個別的活動を状況に応じて組み合わせながら行っている。	・今後もサービスの充実に向けて、ガイドラインに沿った支援を継続して行っています。	
	関係機関や保護者との連携	⑳	障害相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	2	2		・サービス担当者会議の開催はなかったが、自発管や当時の様子を知っている職員が電話で関係機関とやり取りをしている。	・会議開催時には、子どもの状況に精通した職員の参加を前提としていきます。
		㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・学校送迎時に情報交換・共有するよう努めている。送迎時に話をするのが難しいときには電話で確認をしている。	・引き続き適切な対応を行っていきます。
		㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	・現在、該当者なし。 ・目薬や服薬等については保護者の申し出により対応している。	・安心・安全のための情報収集及び協力体制を整えていきます。
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		・同法人の施設職員と交流を持ち、情報共有するよう努めている。	・引き続き、必要に応じて対応していきます。	
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から他の福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	・相談支援専門員を通して情報提供を行った。	・今後、必要に応じて対応していきます。	
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		・同法人の機関との情報提供を行っている。	・引き続き、研修会への参加や連携を図っていきます。	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	・子供同士の直接の交流はないが、児童センターから放課後等デイサービスについての問い合わせがあった。	・必要に応じて連携し地域との交流を図っていきます。		

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	2	・機会がない。	・機会があれば積極的に参加していきます。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時の他、連絡帳や電話を活用し情報共有を行っている。	・引き続き、信頼関係を築きながら丁寧な対応や助言を行っています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	・子供の様子と併せて、デイで実践した有効な方法や情報を伝えるようにしている。	・保護者が子どもの状況を正しく理解し適切に対応できるように助言したり、要望があった場合にはペアレント・トレーニングを行っています。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		・契約時に説明をすると共に、通信には活動の様子を掲載し負担額が変更になる場合も丁寧に説明するように努めている。	・引き続き行っています。
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・連絡帳に悩みなどの記載があったときや、子供、保護者の様子を見て不穏が見られるときには声掛けを行ったり、話を聞くようにし解決方法を提示している。	・引き続き、保護者の悩みを受容し、丁寧な対応及び助言を行っています。
	㉕	父母の会活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	・現在、父母の会の活動はなし。仕事をしているご家庭が多い為、開催は難しいと思う。	・現段階では、保護者方からの要望は出ていませんが、ご意見を伺いながら検討していきたいと思えます。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・体制は整っている。 ・玄関に「みんなの声」の投書箱を設置すると共に、年1回、文書にて依頼し、意見・要望等の受付を行っている。	・保護者の方々との信頼関係を築き、遠慮せず話せる雰囲気や環境を作りをしていくと共に、周知徹底をしていきます。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・月1回、「いなかデイ東見前通信」を発行し、行事予定や活動の様子を掲載している。また、集団活動の予定についても併せて掲載することで、子どもたちが見通しや期待感をもって取り組むことができている。	・引き続き、内容の充実を図っていきます。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	4			・写真掲載同意書、個人情報開示同意書を取っている。	・今後も取扱いについては、十分に留意しながら対応をしていきます。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮しているか	4			・個別的に関わることで子どもの表情や仕草を観察したり、気持ちや要求等を表現する手段や活動内容を提示する際に、イラストや写真、文字カードを活用し、可視化を図っている。 ・保護者とは連絡帳やメールシステムの活用もしている。	・引き続き、丁寧な対応を行っています。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	・活動、行事として地域にある施設や公共の場に出向き、接する機会を設けるよう努めている。 ・パンフレットの配布(周辺の児童センター他)を行った。	・地域の方にも、より理解・協力が得られるよう努めていきます。
非常時等の対応	㉛	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		・整備されている。 ・感染症については蔓延状況や社会情勢に合わせて事業所としての対応を伝えるようにしている。	・引き続き、周知徹底を図っていきます。
	㉜	非災害の発生に備えて定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・毎月1回避難訓練を実施している(火災・地震・浸水・不審者)	・引き続き実施し、災害に備えています。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・研修会に参加し情報を共有している。指摘し合える環境を作るようにしている。	・利用者への対応の仕方について、職員間で話し合うと共に、防止に努めています。
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承をえた上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		・身体拘束に関するマニュアルや記録用紙等、整備中。	・個別支援計画への記載、保護者への説明と了解、記録することを徹底していきます。
	㉟	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		・アセスメントにアレルギーの有無について記載して頂いている。 ・アレルギーのある方については、おやつを持参してもらっており、手作りおやつの際は、保護者にその都度確認し提供している。	・保護者や子どもが安心・安全に利用して頂けるよう対応していきます。
	㊱	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		・ミーティングで報告し合い、共通理解と再発防止に努めている。	・引き続き作成し、事故防止につなげていきます。
合計			110	41	21		
割合(%)			64.0%	23.8%	12.2%		

全体としての課題

・子供達の身体の成長に伴い手狭さを感じています。また、その中でもゆっくり静かに過ごしたい人の為に休養スペースを設けたり、着替えをする場所がない為、一時的に部屋を移動していただいたり、子供達の協力を得ながら対応しているのが現状です。

・緊急時の対応等については、保護者の方に対して再度周知徹底していく必要があります。

・今後もコロナ禍での外出活動については、感染対策を十分に行いながらも楽しんで経験を積むことができるように努めています。

・保護者や利用者の方々に安心・安全に利用していただきながら、引き続き、療育支援・保護者支援の充実を図っていききたいと思います。